

令和2年度数理経済学会 評議会 議事録

場所：今池ガスビル・プラチナルーム（+オンライン参加）

日時：令和2年11月21日 19:30-21:00

出席者（会場）：小宮英敏（議長）、浦井憲、花園誠、石川竜一郎、細矢祐誉

出席者（オンライン）：神谷和也、上東貴志、中川秀敏、武岡則男

委任状：野口光宣、二神孝一、斉木吉隆、尾崎裕之

委任状を含め、評議員 13/13 で定足数充当（2/3）

議事内容：

1. 令和2年度事業報告

(a) 関東地区セミナー：

(b) 近畿地区セミナー：

議事資料にあるように、数理経済学会に関連するセミナーについて報告があった。今後も会員が関わるセミナーを共催等の形で開催できるように協力をお願いし、数理経済学会BBSでの周知も継続していくことを確認した。

(c) 年次研究集会

予定通り開催された。

(d) 数理経済学叢書

資料の通り、報告があった。

2. 令和2年度決算の見とおし

決算見通しについては、別紙資料を基に以下の2点、修正する点があることが確認され、承認された。

- ・研究集会関連費用として、会場における機材の利用料が2.5万円ほど計上される。
- ・林先生への原稿料（研究費）について、租税条約による源泉徴収の免除を申請する段取りが進められており、免除が認められれば現状通りの30万円となるが、何らかの事情で却下された場合に、非居住者に対する源泉徴収20.42%の税額を納付する必要がある（7万円余り）。

付記：上記の機材使用料、そのための振込手数料、また、評議会後に判明した協賛金を加え、決算見通しを修正した。本議事録への添付資料は修正済みのものである。

3. 令和3年度事業計画・予算

来年度予算については、別紙資料の通り承認された。

4. 会員数の増減

資料の通り報告があった。

5. 令和3年度役員の改選

以下の点が承認された。

- ・会長は小宮会長が1年継続する
- ・評議員については、今年度任期満了に伴い4名退任（浦井、花崗、斉木、中川）。
- ・浦井広報担当理事・副会長は1期（2年）満了であり、もう1期継続する。
- ・定例セミナー、研究集会の担当理事は、全員継続する。
- ・機関誌担当理事として、神谷先生が着任。
- ・叢書編集委員会担当理事（委員会幹事）として、武岡先生が着任。

来年度からの評議員、役員の候補者が挙げられ依頼することとした。

- ・副会長・総務担当理事（評議員兼任）：鈴木岳先生（明治学院大学）
- ・評議員候補
 - ファイナンス系：本多俊毅先生（一橋）
 - 女性：胡雲芳先生（神戸）

付記：上記の候補者から承諾をいただいた。第1候補者からの承諾であったため、評議会に出された第2候補者について、議事録に名前を出すことは控える。その他、数学専門の評議員候補者には打診したが、事情により辞退された。

6. 数理経済学叢書編集委員の改選

評議会メール会議で編集委員を全員改選すること、2年の任期を設定すること、そして再選は妨げないことについてすでに承認されたことを確認し、編集委員（ただし、評議会出席者以外は本人の承諾を条件とする）、および幹事（叢書編集担当理事）を選任した。

神谷先生、武岡先生（幹事）、中川先生、グレーヴァ先生、斉木先生、林先生

付記：上記の候補者からすべて承諾をいただいた（評議会、およびメール連絡）。

叢書編集委員会には、評議会と連絡を取りながら、今後の叢書の編集方針、限られた予算の中での適切な出版の方法等についても議論をお願いする。編集委員会幹事は、編集委員会の招集や評議会との連絡を主たる役割とすることも確認された。

7. 学会機関誌について

メール審議を踏まえ、今評議会でも審議を加えた結果、スプリンガーからの学会機関誌刊行は困難が大きく、現状を踏まえ J-STAGE を利用する方針でまとまった。なお、編集長は神谷先生（当面）、また現執行部の小宮会長、浦井・花菌副会長も機関誌編集やそのサポートにコミットすることが確認された。J-STAGE への申請準備を速やかに行い、来年度なるべく早い段階で学会誌を立ち上げ、投稿を受けられるように努力する。

審議の中で、以下のような有益な意見や情報を得た。機関誌刊行の準備に当たり、検討・参考にしていく。

- ・少なくとも年1冊以上の刊行を計画。ただし、本数は問わない。
- ・タイトルは以前検討された Communications in economics and mathematical sciences でよいのではないか。
- ・数学、経済学の間の特ピックについては、他の雑誌の守備範囲に入らないために受け皿としての需要はあるだろう。
- ・J-STAGE での刊行が軌道に乗り、将来、出版社から発行が可能となった場合には、検討する。
- ・JAFEE（[日本金融・証券計量・工学学会](#)）では和文誌を J-STAGE で刊行。年4、5本。採択論文の編集作業を1本3万円で外注。別途英文誌あり。
- ・編集作業にかかる外注コストは（一部）著者に負担してもらうことは可能。
- ・査読プロセスは特に大変。最終的に編集者が自分で読むくらいの意気込みが必要。
- ・今後の方向性として、査読選択制（投稿者が査読を希望する場合、通常の査読によるプロセスを実施。その他は編集委員の判断で掲載の可否を決定）を軸に検討を進める。

8. 学会関係の書類の取り扱い

現在、会長が学会関係書類を預かっており、作成後10年を経た書類は廃棄可能であるので、該当する書類を廃棄したいと会長から提案があったが、時間の制約から十分な審議を行うことができなかった。今後、意見を求め再審議することとした。

9. 学会事務局について

学会事務局は規約上、会長の研究室にするとあるが、小宮会長は定年退職したため自宅を学会事務局とする旨、了承された。

添付資料：評議会資料

署名人署名欄

<p><i>Le Uai</i> 浦井 憲</p>	<p>小宮英敏</p>
-------------------------------	-------------